

2024年12月期 第3四半期 決算説明資料

GreenBee株式会社

(東証グロース：3913)

2024年11月14日

本資料の複写、転用はしないで下さい



テクノロジーで、持続可能な未来を築く会社

新領域事業

GXサービス事業

お客様の脱炭素化に向けた取り組みに貢献するサービスをワンストップで提供する事業

- 運用効率を最適化する設計
- EMSクラウドサービス
(エネルギー管理システム)
- 蓄電池システムのカスタムパッケージ
 - スマートデータロガー
 - 蓄電池
 - 太陽光発電モジュール
 - EV充電器

新シフト事業

DXサービス事業

AIとシステムで情報活用可能なサービスをワンストップで提供する事業

- クラウドデータバックアップサービス
 - sMedio Cloud Backup
- 建設DXサービス
 - 切羽AI評価サービス
 - コンクリートAI評価サービス
 - 掘削サイクルAI解析サービス
 - 濁水処理AI解析サービス
- モバイルアプリ脆弱性診断サービス
 - RiskFinder

共通基盤事業

テクノロジー ライセンス事業

競争力の高い自社テクノロジーIPをライセンスする事業

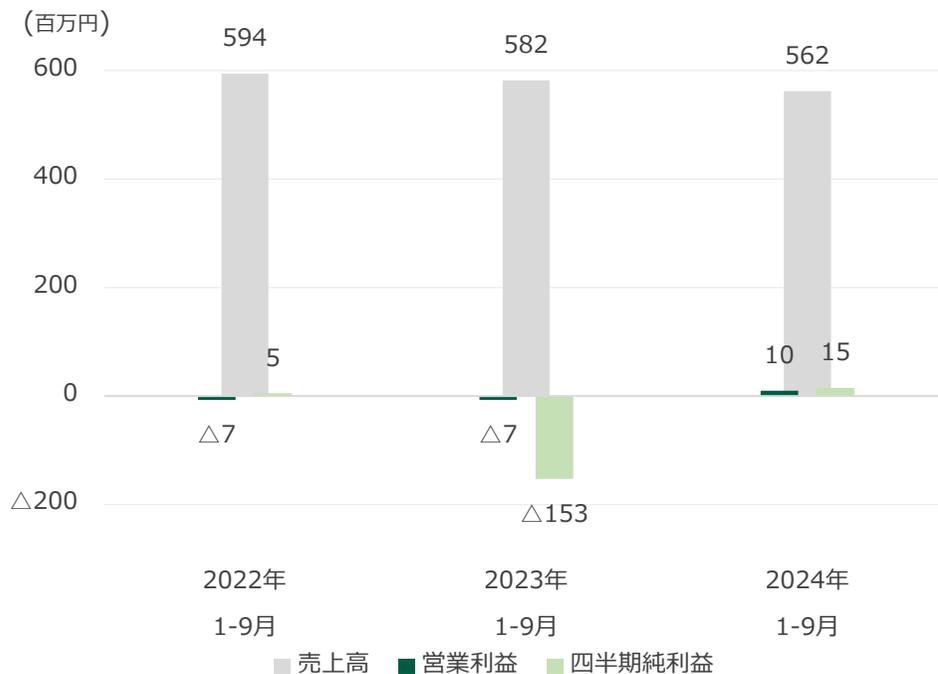
- 4K/8Kプレミアムコンテンツ再生
 - Valution
 - TrueBD
- 組み込みブラウザ
 - tourbillon
- デバイス間高速データ転送・バックアップ
 - sMedio Data Transfer
- AIメイクアップアプリ
 - sMedio Beauty Camera

決算概要

2024年12月期 第3四半期

- 売上高は、562百万円（前年同期は582百万円）
- 営業利益は、10百万円（前年同期は7百万円の赤字）
- 四半期純利益は、15百万円（前年同期は153百万円の赤字）

業績推移



(単位:百万円)	予算進捗率		
	2024年3Q実績	通期予算	進捗率
売上高	562	898	62.6%
営業利益	10	46	23.2%
経常利益	13	46	29.6%
純利益	15	34	45.8%

単位：百万円

	2022年 1-9月	2023年 1-9月	2024年 1-9月	前年同期比	
売上高	594	582	562	▲20	▲3.5%
売上原価	277	289	252	▲37	▲12.9%
売上総利益	316	293	310	17	5.9%
販管費	324	300	299	▲1	▲0.4%
営業利益	▲7	▲7	10	18	n/a
営業外収益	24	12	2	▲9	▲76.8%
営業外費用	1	—	—	—	n/a
経常利益	15	5	13	8	166.9%
特別利益	—	—	0	0	n/a
特別損失	—	146	2	▲144	▲98.5%
税金等調整前四半期純利益	15	▲141	11	153	n/a
法人税等	9	11	▲4	▲15	n/a
親会社株主に帰属する四半期純利益	5	▲153	15	168	n/a
売上原価率	46.7%	49.7%	44.9%	▲4.9p	n/a
営業利益率	▲1.3%	▲1.3%	1.9%	3.2p	n/a

• 売上高

前年同期と比較して、テクノロジーライセンス事業で64百万円減少した一方で、DXサービス事業で24百万円増加、GXサービス事業で19百万円増加したことで、562百万円となりました。

• 営業利益

コストの最適化、セールスマックスの変化等によって売上原価が減少したことで営業利益は10百万円となりました。

• 親会社株主に帰属する四半期純利益

営業利益が増加したことに加え、為替差益や法人税等調整額を計上したこと等により、15百万円となりました。

単位：百万円

資産	2022年 12月	2023年 12月	2024年 9月	前期末比
現金及び預金	889	781	888	107
売掛金	181	215	152	▲63
仕掛品	12	1	20	18
原材料及び貯蔵品	235	116	86	▲30
その他	26	29	27	▲1
流動資産合計	1,346	1,144	1,174	29
有形固定資産	14	13	13	0
ソフトウェア	3	1	0	▲0
その他	1	1	1	▲0
無形固定資産合計	4	3	2	▲1
投資その他資産	28	28	51	22
固定資産合計	48	44	67	22
資産合計	1,394	1,189	1,242	52

負債・純資産	2022年 12月	2023年 12月	2024年 9月	前期末比
買掛金	20	23	14	▲8
未払法人税等	14	12	0	▲12
賞与引当金	2	2	10	7
その他	122	76	65	▲10
流動負債合計	159	114	91	▲23
固定負債合計	13	10	11	0
負債合計	173	125	102	▲22
資本金・資本剰余金	1,347	1,341	1,251	▲89
利益剰余金	23	▲139	▲124	15
自己株式	▲176	▲166	▲29	137
その他	25	29	41	12
純資産合計	1,221	1,064	1,139	75
負債・純資産合計	1,394	1,189	1,242	52

• 資産

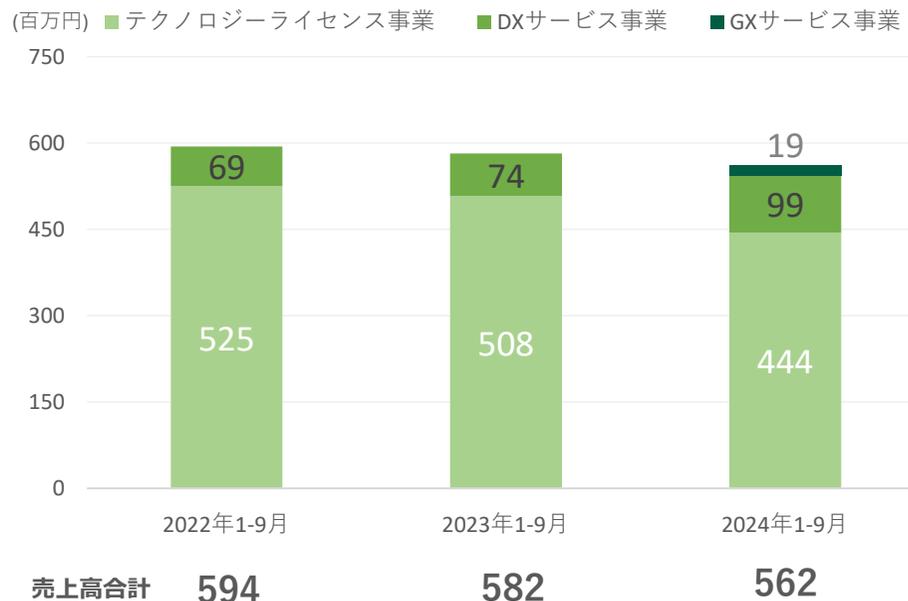
四半期純利益の計上、投資その他の資産が増加したこと等に伴い、資産が52百万円増加しました。

• 負債

法人税等の支払い等により負債が22百万円減少しました。

• 純資産

自己資本の水準について、当四半期末において自己資本比率は91.7%であり、引き続き、財務の健全性は維持しております。



・ テクノロジーライセンス（共通基盤事業）

ライセンス売上は堅調に推移しましたが、開発売上が前年同期と比較して低調に推移した結果、前年同期比較で64百万円の減収となりました。本事業領域に関わる開発その他コストの適正化を図ること、より利益率の高いライセンス製品に注力することで収益率を向上させていきます。

・ DXサービス（新シフト事業）

建設DXサービスにおいて、昨年と一昨年に計上されていた特定案件の開発売上がなかった一方で、sMedio Cloud Backupの有償サブスクリプション契約者増加による収入増により、前年同期比較で売上は24百万円の増収となりました。

・ GXサービス（新領域）

当年度から新たに開始した事業で、蓄電池システム関連からの収益を上げていくことに注力しています。現在実施している商談からの売上は本年度後半から来年度前半に計上されることを期待しております。

DXサービスとGXサービスからの売上を伸ばしていくことで、テクノロジーライセンスビジネスからの移行を図ります。

事業概要

2024年12月期 第3四半期

富士通パソコンFMV 10月モデルに「スマホConnect」のライセンス提供を開始 2024年12月期 第4四半期からのロイヤリティ収入を計上予定

- 「**スマホConnect**」は、iPhone、AndroidスマートフォンとWindowsパソコンを無線接続することで、スマートフォンの画面をそのままパソコンの画面上に投影し、パソコンのキーボード・マウスでスマートフォンのリモート操作を可能にするアプリケーションです。

基本機能

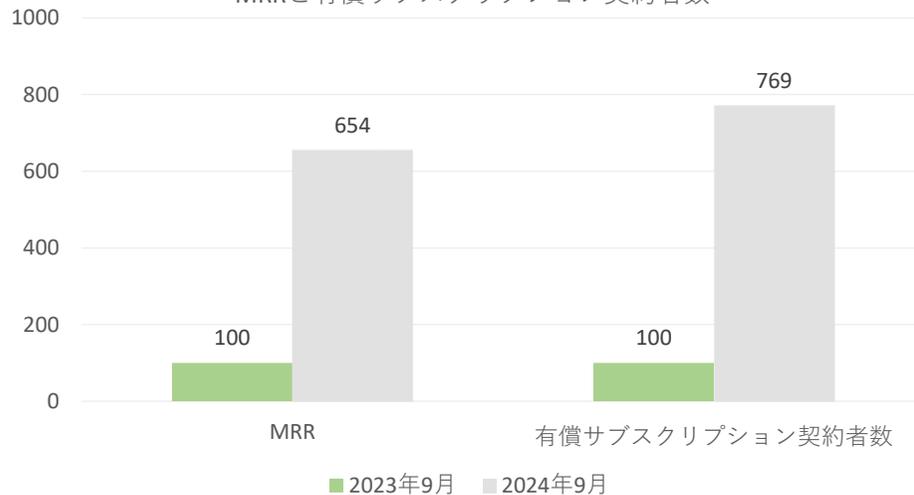
- スマートフォンの画面をPCにリアルタイム表示
- PC上でスマートフォンの遠隔操作が可能
- PCのスピーカーでスマートフォンの音声再生
- 画面サイズの自由な調整



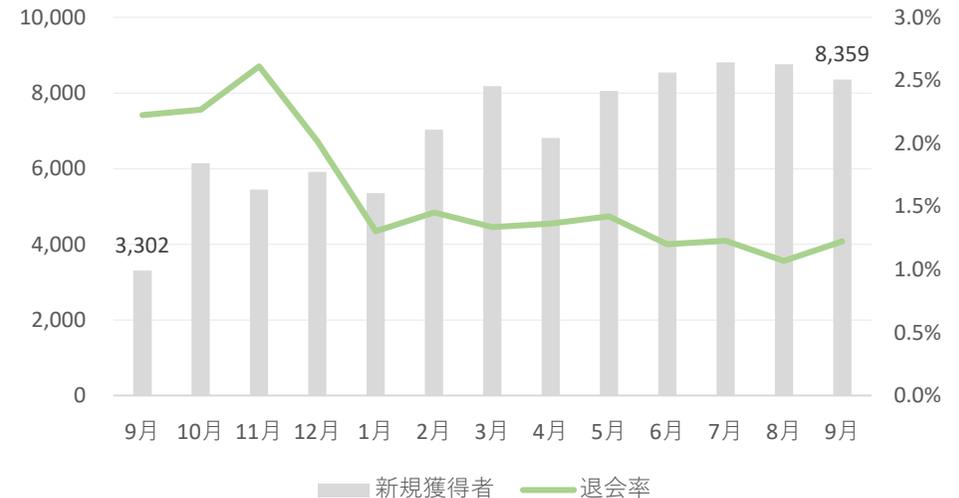
パソコンでスマートフォンをリモート操作

ビジネス規模が大きく成長 前年同月比で、月間のリカーリング収益 (MRR) *1 が6.5倍、 有償サブスクリプション契約者数が7.6倍に

2023年9月を100とした場合の
MRRと有償サブスクリプション契約者数



新規獲得者数/退会率



- 有償サブスクリプション契約者数は2024年9月末に91,631名に到達(前年同期比7.6倍)
- 新規獲得数は直近3ヶ月で8,000名/月ペースを超える
- 退会率は、2023年9月2.2%から2024年9月1.2%に改善 (減少)

* 1 月間のリカーリング収益 (MRR) とは、対象月の月末時点における継続課金ユーザーに係る月額料金の合計額のこと (一時収益は含まない)。
MRRとはMonthly Recurring Revenueの略。

- 「インバート掘削打設管理サービス」が岩田地崎建設株式会社に採用
- 「切羽AI評価サービス」が株式会社 森組に採用
- 当社建設DXサービス製品の累計採用企業社数は 15社、累積採用トンネル数は56本に到達 (2024年9月末時点)

INVERT インバート掘削打設管理サービス

LiDAR (Livox Mid-360) Wi-Fi **iPad**

- リアルタイムに掘削状況を見える化
- コンクリート量の予測とコンクリート厚を計算

切羽AI評価サービス

スケッチ機能

- ✓ スタンプ
- ✓ 線・矢印・囲い

電子黒板機能

- ✓ 表示On/Off
- ✓ 黒板掲載内容自動取得
- ✓ 配置設定

ウエストホールディングス株式会社と資本業務提携契約を締結 ウエスト社太陽光発電所事業向けシステムの共同開発を開始



x



- 2024年7月12日に、太陽光発電所開発最大手のウエストホールディングス株式会社（ウエスト社）と資本業務提携契約を締結しました。
- 自家消費型太陽光発電システムの導入を検討している企業に最適な設備を提案するシステム、ウエスト社の太陽光発電事業向けに業務の効率化・見える化する業務管理DXシステム、営業情報を蓄積・活用するシステム等の共同開発を開始しております。

- 本資料は、提出日現在に利用可能な情報に基づいて、当社（連結子会社を含む）の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込み、または予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望には、様々なリスクや不確実性が内在しています。既知、もしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと保証することはできず、実際の結果が将来の展望と著しく異なることもありえます。
- 本資料中の数値は、単位未満の端数処理による影響で表中の合計と一致していない場合があります。